

中学・高校生のためのサイエンスカフェ

2014 年 2 月 28 日(金曜日)PM3時 40 分から

「子どもたちが政治を考える」

淑徳巣鴨中学・高校にて開催!

ゲスト 東京大学大学院教育学研究科教授 小玉 重夫	
コーディネーター・ファシリテーター 特定非営利活動法人 WEBREIGO 理事長 宮川 智香	2014 年 2 月 28 日 (金曜日) 午後 3 時 40 分から 参加費 無料 / カフェお持込
会場 淑徳巣鴨中学・高校 東京都豊島区西巣鴨 2-22-16	お問い合わせ info@web-reigo.com

今年の成人の日には、成年年齢を 18 歳に引き下げるかどうかについての話題が例年よりも多くありました。その背景には、二〇〇七年に成立した国民投票法が投票年齢を 18 歳以上と定めたことがあります。そうした背景のなかで、一昨年の一月に公表された総務省の「常時啓発事業のあり方等研究会」最終報告書では、将来を担う子どもたちに対し、学校での「政治的リテラシー」(政治的教養)の教育を強化することを提言しています。

政治教育の尊重は教育基本法第一四条でも規定されている重要な課題ですが、これまで学校現場では、政治的中立性に配慮するあまり、ともすれば政治教育が忌避される傾向がありました。子どもたちへの政治教育は可能なのでしょうか。可能であるとすれば、それはどのような条件のもとでしょうか。現在公開されている政治哲学者ハンナ・アレントを主人公とした映画や、NHK の連続テレビ小説「あまちゃん」の例などをもとにしながら、考えていきたいと思います。